

沿岸定線観測速報 ちば (2018年9月)

千葉丸：9月1～3日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

平成30年9月28日

黒潮は、房総沖をやや離岸して北東へ向けて流れていました (図2)。

水温は、銚子・九十九里海域は平年並み、外房海域は平年並み～やや高めでした (表1)。

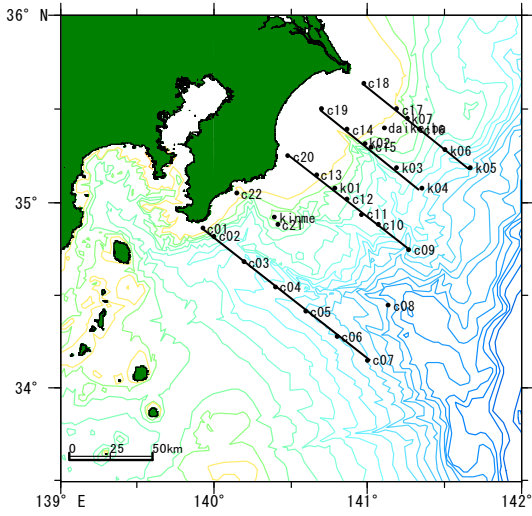


図1 調査点 (K1～K7は欠測)

線は北から犬吠崎，九十九里，太東岬，野島崎ライン

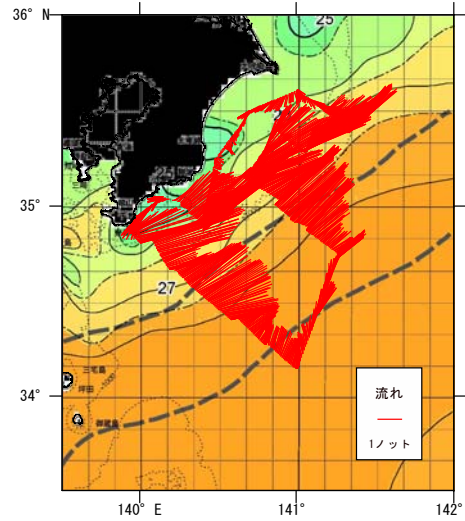
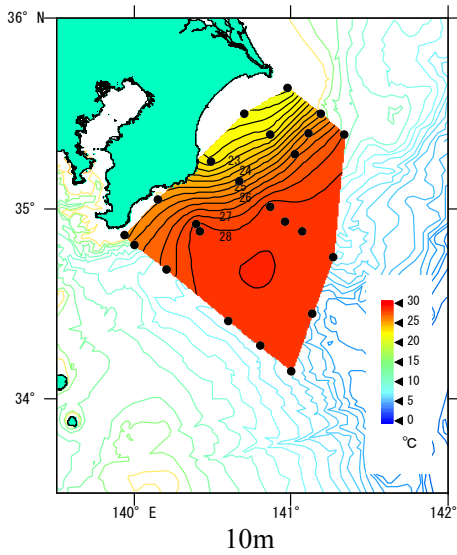
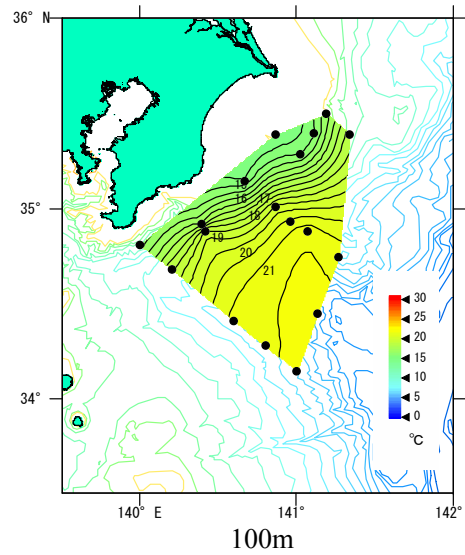


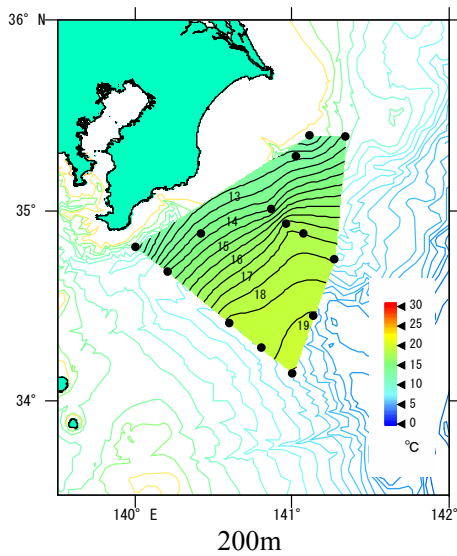
図2 観測時の海況



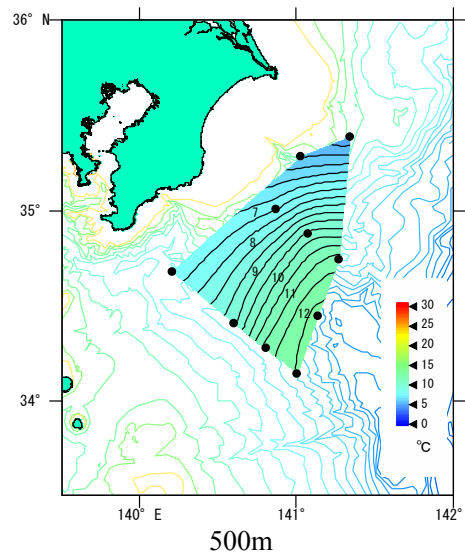
10m



100m



200m



500m

図3 水深別の水温水平分布

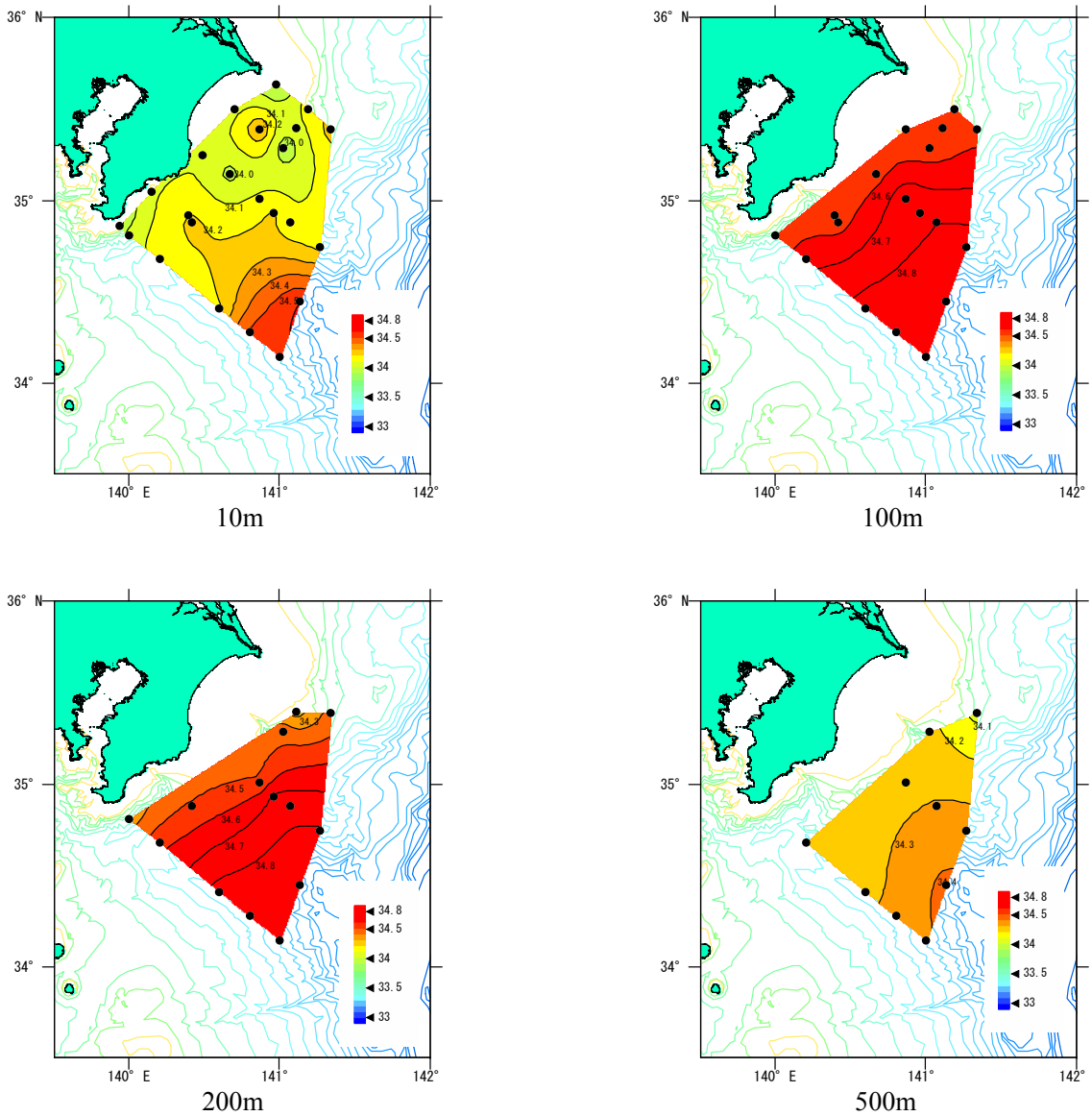


図4 水深別の塩分水平分布

流況は全般的に北東へ向かう流れになっていましたが、黒潮域よりごく沿岸の方が流れが速くなっていました（図2）。

塩分は、銚子から外房にかけてのごく沿岸の表層で、鹿島灘から南下する水塊の影響を受け低下していました（図4の水深10m）。これは特に野島崎ラインで顕著であり、低塩分水は表層から水深50m程度にまで及んで分布していました（図6）。

勝浦沖キンメ漁場の水温は去年より高くなっていました。また塩分は、表層は去年より低め、水深100mより深くなると逆に去年より高くなっていました。一方、銚子沖の台形場は水温、塩分ともおおむね去年と同じでした（図7）。

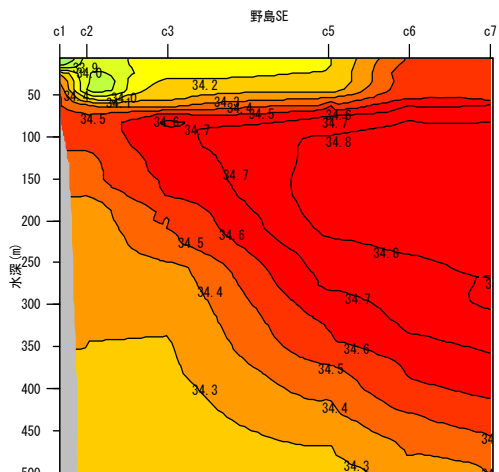
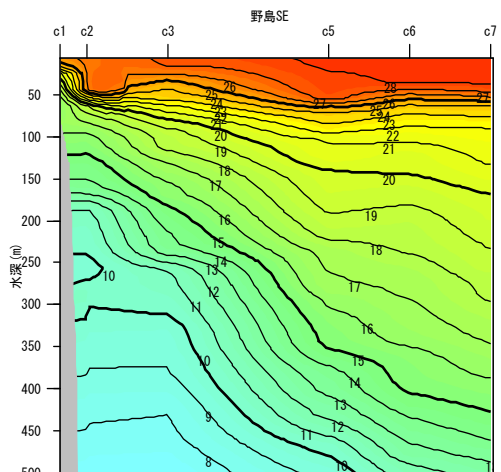
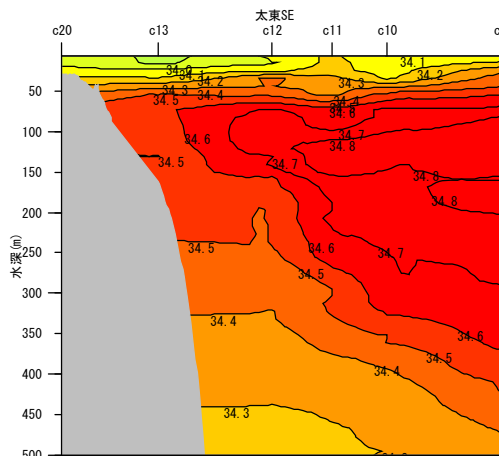
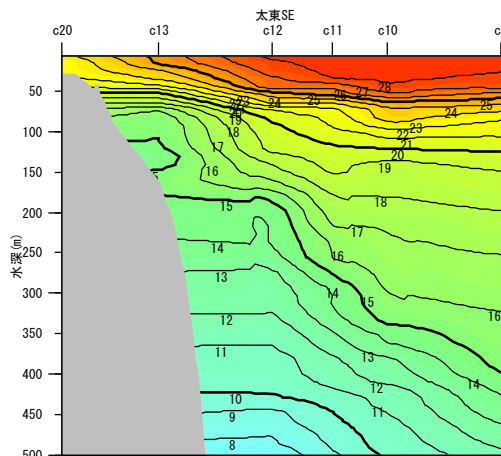
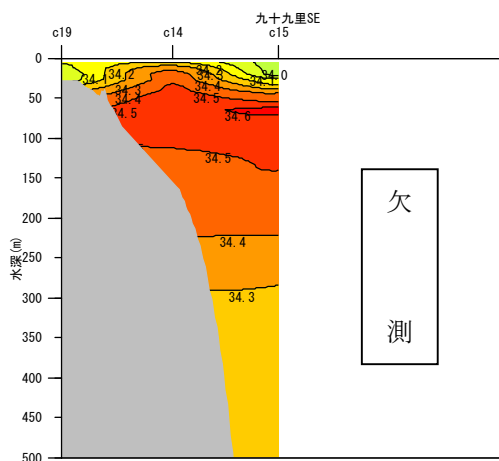
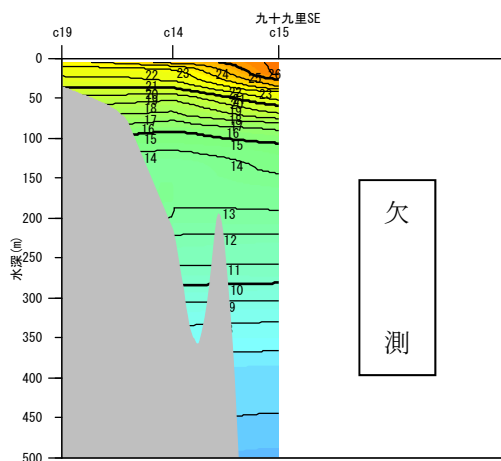
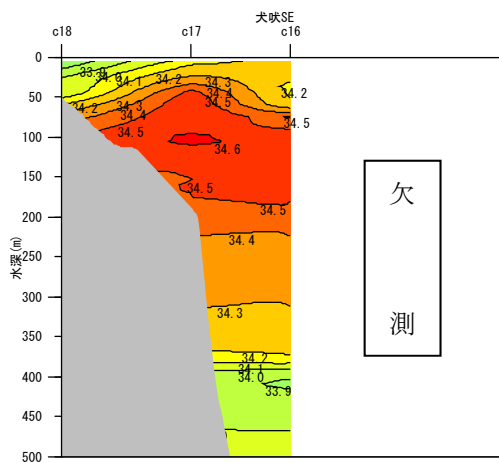
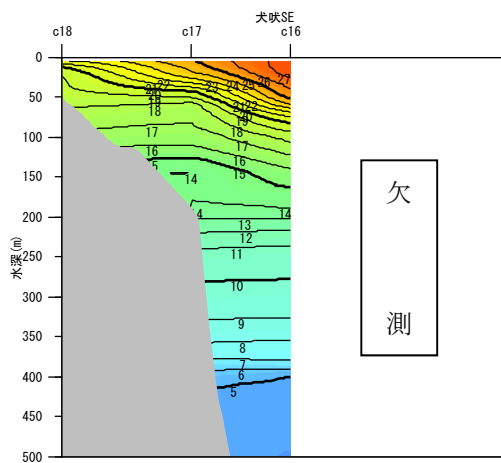


図5 水温鉛直分布
 図6 塩分鉛直分布
 いずれも上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島崎ライン（図1参照）

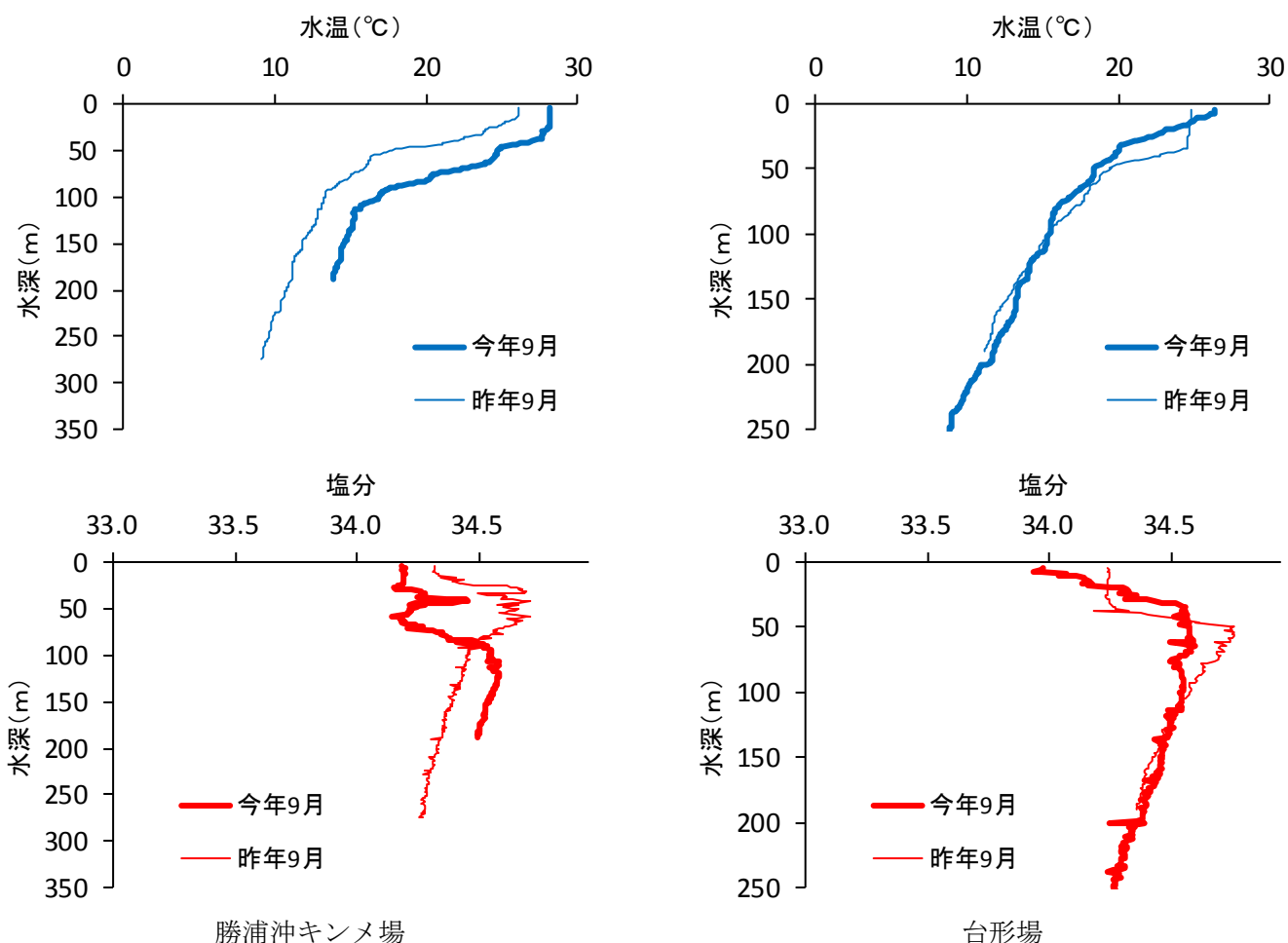


図7 勝浦沖キンメ場・台形場の水温塩分鉛直分布

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

| 海域 | 0m | 50m | 100m | 200m |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 銚子・九十九里 | 24.4 平年並み | 20.6 平年並み | 16.2 平年並み | 13.0 平年並み |
| 外房 | 26.8 やや高め | 21.8 平年並み | 17.5 平年並み | 15.3 平年並み |

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安

| | | |
|--------|-------------------------------|--------------------|
| きわめて高め | 2.0 σ ~ | |
| 高め | 1.3 σ ~ 2.0 σ | |
| やや高め | 0.6 σ ~ 1.3 σ | |
| 平年並み | 0 ~ 0.6 σ | |
| 平年並み | 0 ~ -0.6 σ | |
| やや低め | -0.6 σ ~ -1.3 σ | |
| 低め | -1.3 σ ~ -2.0 σ | |
| きわめて低め | -2.0 σ ~ | (σ : 標準偏差) |

<資料> 関東・東海海況速報 (図2; 9月3日分)